



2015 DIJON Racing SUPER GT RACE REPORT

SUGO GT 300KM RACE

開催日時 : 2015 年 9 月 19 日～20 日
 開催地 : スポーツランド SUGO (宮城県)
 ドライバー : Takamori 博士 / 田中勝輝
 マシン名 : DIJON Racing GT-R (日産 GT-R GT3)
 参戦クラス : 2015 年 SUPER GT SERIES / GT300 クラス

天候 : 予選 / 曇り～晴れ
 決勝 / 晴れ

路面 : 予選 / ウェット～ドライ
 決勝 / ドライ

入場者数 : 予選 / 8,000 人
 決勝 / 28,500 人

練習走行 : クラス 18 位 (1 分 21 秒 284)
 予選 Q1 : クラス 18 位 (1 分 21 秒 072)
 予選 Q2 : ---
 フリー走行 : クラス 23 位 (1 分 22 秒 137)
 決勝 : クラス 21 位 (73 周)

DIJON
Racing

inokii
MTSUNAGA
 GROUP
 h Dental office
ENDLESS

Cure★
 Album Planer
IBRIDA CELL
NILZZ
 Racing Factory
POWER STATION

アーツ銀座
 クリニック
KTEL
PINS
 FACTORY®
NISSAN nismo
 NISSAN GT-R NISMO GT3
 Customer Racing

CKK
TAKATA
 ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS



2015 年 SUPER GT シリーズ第 6 戦『SUGO GT 300km RACE』が宮城県のスポーツランド SUGO で開催された。例年までは 7 月に開催されてきたが、本年は、初めての試みで秋の大型連休 9 月 18 日（土）～ 20 日（日）に行われた。スポーツランド SUGO は地形を生かしたアップダウンが非常に多く、コース幅が非常に狭い事もあって、コースの随所で見どころのあるバトルが展開される。

そのため、予想外のアクシデントも発生しやすく、『魔物が住む』と形容されるほど、毎年波乱に満ちたレースが展開されている。

DIJON Racing48 号車は Takamori 博士と田中勝輝のコンビでスポーツランド SUGO の 攻略に挑んだ。

■9 月 19 日（土） 公式練習

この日の菅生は秋晴れの空が広がったが、昨夜の雨で濡れた路面が乾ききっておらず、所々濡れており、ウェット宣言がなされた。

午前 9 時 00 分より 公式練習が開始され、Takamori 博士はスリックタイヤでコースインするも、コース上で日陰にかかる部分はかなり濡れており、コンディション が良くなるまでピットで待機することを選択する。

ピットで待機すること約 5 分、路面状況は向上してきており、再びコースイン。

マシンの感触を確かめるべく、徐々にペースを上げていき、1 分 22 秒 455 までタイムを短縮。

GT300 クラス 11 番手につける。

公式練習終盤、GT300 クラスの占有走行枠となったタイミングで Takamori 博士が いよいよアタックラップに入る。

Takamori 博士は 1 分 21 秒 284 までタイムを短縮し、この公式練習は GT300 クラス 18 位という結果に終わった。

DIJON
Racing

inokiki
MITSUNAGA
GROUP
h Dental office
ENDLESS

Cure
Album Planer

IBRIDA CELL

NILZZ
Racing Factory

POWER STATION

アーツ銀座
クリニック

KTEL

PINS
FACTORY®

NISSAN **nismo**
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

CKK

TAKATA

ヒョウゴベンダ

YOKOHAMA

RAYS



■9月19日(土) 予選 Q1

13時30分より行われた GT300 クラスの予選 Q1 セッション。

セッション開始時刻が近づくにつれ、雨雲と思われる雲が菅生の上空に近づいてきていた。

既に村田 IC では降雨との情報も入り、セッション中の降雨も心配されたため、予選 Q1 を担当する Takamori 博士はセッション開始からコースイン。計測 2 周目に 1 分 21 秒 788 をマークし、3 位につける。

翌周、更にアタックを継続した Takamori 博士は順位を一つ落とすも、タイムアップに成功。1 分 21 秒 072 をマークし、この時点で 4 位となる。

その後、1 周のクールダウンラップを経て、アタック再開するも、タイムアップはならず。

セッション終了までまだ 5 分ほど残ってはいたが、チームはピットインを指示。

この時点で Q1 通過ラインを上回る 12 位につけており、後はライバル勢の動向が気になるが、ライバル勢がセッション終盤にタイムを縮めたことで DIJON Racing GT-R は順位を下げ、18 位で残念ながら予選 Q1 通過はならなかった。

■9月20日(日) 決勝

午後になっても天候は変わらず、汗ばむほどの強い日差しが照りつけたスポーツランド SUGO。

28,500 人の観客が見守る中、華々しいセレモニーを経て、14 時 05 分にいよいよ決勝レースがスタートした。

接触を避けるためにオープニングラップで順位を落としてしまった Takamori 博士だったが、堅実な走行で順位を着実に回復、コース距離が短く、すぐに追いついてくる GT500 の集団に気をつけつつ、18 位まで順位を回復していた。

DIJON
Racing

inokiki
MITSUNAGA
GROUP
h Dental office
ENDLESS

Cure
Album Planer
IBRIDA CELL
NILZZ
Racing Factory
POWER STATION

アーツ銀座
クリニック
KTEL
PINS
FACTORY®
NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS



チームは、ピットレーン入り口が解放されると挙ってピットイン車両で大渋滞が発生すると予想。

致命的なタイムロスにつながると判断し、このタイミングでのピットインは行わず、Takamori 博士には可能な限りロングランを行う作戦を指示した。

ピットレーン入り口が解放されると、ほぼ全車とも言える程のライバル勢がピットに飛び込み、狭い菅生のピットレーン上は大混乱となる。

適切に状況判断した DIJON Racing GT-R は一気に GT300 クラストップまで浮上することに成功した。

その後、タイヤの磨耗を抑えるべく、ペースを調整しながら走行を続け、Takamori 博士は 51 周を走りきり GT300 クラス 5 位でピットインを行う。

ピット作業では、リアタイヤのみを交換し給油も最低限に行って、田中勝輝が最後のスティントに向けてコース復帰した。しかし、ここからの追い上げを期待していた DIJON Racing GT-R だが、田中勝輝のペースが思うように上がらない。タイヤカスを拾った事でタイヤのグリップが減り、本来のスピードを出す事が出来なくなってしまっていた。

結局追い上げは果たせず、73 周を終えたところでチェッカーフラッグが振られ、レースは終了。

DIJON Racing GT-R は GT300 クラス 21 位で第 6 戦を完走した。

次戦は 10 月 31 日から 11 月 1 日にかけてオートポリスで行われる第 7 戦『SUPER GT in KYUSHU 300km』に参戦致します。

2015 年 SUPER GT シリーズも残すところあと 2 戦となりましたが、全力をもって上位を狙っていきます。

引き続き皆様のご 声援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

DIJON
Racing

inokiki
MITSUNAGA
GROUP
h Dental office
ENDLESS

Cure★
Album Planet
IBRIDA CELL
NILZZ
Racing Factory
POWER STATION

アーツ銀座
クリニック
KTEL
PINS
FACTORY®
NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS